

ハンドボール

NO. 1

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 少年男子

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会

- 男子
- 女子

試合
番号 **B-18**

年月日 2023 年 10 月 12 日 (木)
大会名 特別国民体育大会 燃ゆる感動がごしま国体 ハンドボール競技

公式記録用紙

A	香川県										山梨県										B										
節選帝県 鹿児島県		市町村 霧島市		会場 霧島市溝辺体育館						国体 3位決定戦																					
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m70- 177外	A	B																	
7m得点/総数	A		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B	7m得点/総数																		
	1/1	1	2	3					1	2	後3	0/0																			
			2213						1320	2635																					
No.	香川県						G	W	2'	2'	D	DR	No.	山梨県						G	W	2'	2'	D	DR						
1	久保 健太												1	佐藤 權斗																	
2	上野 航瑠						1						2	雨宮 弘典																	
3	高尾 勇羽						11						3	清水 大地						1											
4	西川 暁生												4	古澤 宙大																	
5	佐藤 恭靖						1						5	清水 鈴悟						2											
6	間島 魁琉						13						6	松本 博也						3											
7	松原 瑞樹												7	青砥 直輝						8											
8	中嶋 優翔						1						8	内田 蓮						5		1	1								
9	太田 翔也						5						9	玉川 翔琉																	
10	相山 波瑠						1						10	尾石 洋太郎						7		1									
11	川田 真吾						3						11	小路 颯太						6											
12	清水 蒼空												12	堀川 陸																	
監督A	田中 潤												監督A	八田 政史																	
役員B	藤澤 昂太												役員B	八田 政史																	
役員C	四宮 涼楓												役員C	高橋 慶悟																	
A	田中 潤										チーム役員A署名										八田 政史										B
特記事項																															
レフェリー	國澤 隆						江田 優紀						國澤 隆						江田 優紀												
TD	松尾 俊彦						三堂 翔吾						松尾 俊彦						三堂 翔吾												
MO	鶴田 祐一郎												鶴田 祐一郎																		
得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入																															

〈資料4 戦評用紙〉

特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月12日(木)	試合番号	B-⑩	回戦	3位決定戦
種別	少年男子	会場	霧島市 溝辺 体育館		

Aチーム名			Bチーム名		
香川県			山梨県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
36	19	前半	13	32	
	17	後半	19		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

インターハイ王者香川県と関東ブロックをトップで通過した山梨県の少年男子3位決定戦となった。香川県のスローオフで始まった。前半開始直後、香川県⑥間島の目の覚めるディスタンスシュートで先制すると、山梨県⑩尾石がすかさずやり返す。山梨県が粘り強いディフェンスをするもことごとくりバウンドが香川県に渡る。③高尾④中嶋らの連続得点で前半序盤は香川県が主導権を握る。その後、香川県⑩相山⑪川田らの速攻が決まり、前半13分で12対7となり山梨県を突き放す。たまたま、山梨県はタイムアウトを申請。ここで今大会、素晴らしいセーブを繰り出している山梨県GK⑫堀川が当たりだす。堀川のセービングから、⑩尾石⑪小路の速攻が飛び出し、山梨県が息を吹き返す。しかし、香川県も③高尾の豪快なミドルシュートでリードを守る。前半は19対13で香川県が6点リードで折り返す。

後半1分、山梨県⑩尾石がミドルシュートで気を吐く。また、ディフェンスも機能しだし、⑥松本らの速攻で後半3分に3点差に詰め寄る。しかし、香川県④中嶋の鋭いフェイントから山梨県④内田が2分間退場をしてしまう。その隙をつき、香川県④太田がサイドシュートを決め、点差を広げていく。山梨県はGK⑫堀川がチームを救うセービングを連発し、⑥松本⑦青砥らの速攻で後半18分、ついに同点に追いつく。香川県も③高尾のディスタンスシュートで意地を見せ、簡単には逆転を許さない。だが、山梨県⑩尾石の連続得点で後半22分ついに逆転に成功し、この試合で初めて山梨県が優勢に立つ。ここから1点を争う攻防が始まる。香川県GK①久保がビッグセーブを2連発。⑥間島がそのチャンスを活かして連続得点を決め、後半25分香川県が再逆転する。残り1分、山梨県がマンツーマンディフェンスで勝利への執念をみせるも、香川県がそれを退け、36対32で香川県が勝利した。

記載者氏名	大西 史朗
送信日時	10月12日(木) 11:25